

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公開番号】特開2009-197008(P2009-197008A)
 【公開日】平成21年9月3日(2009.9.3)
 【年通号数】公開・登録公報2009-035
 【出願番号】特願2009-98976(P2009-98976)
 【国際特許分類】

C 0 7 K 16/24 (2006.01)
 C 1 2 P 21/08 (2006.01)
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)
 A 6 1 P 31/04 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 37/02 (2006.01)
 A 6 1 P 37/06 (2006.01)
 A 6 1 P 19/02 (2006.01)
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)
 A 6 1 P 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/24 Z N A
 C 1 2 P 21/08
 C 1 2 N 5/00 B
 A 6 1 K 39/395 D
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 29/00 1 0 1
 A 6 1 P 37/02
 A 6 1 P 37/06
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 3/10
 A 6 1 P 1/04
 A 6 1 P 1/00

【手続補正書】
 【提出日】平成22年5月14日(2010.5.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

p75ヘテロダイマーを形成するp35サブユニットおよびp40サブユニットを含むヒトIL-12

に対するモノクローナル抗体であって、以下の特徴を有するモノクローナル抗体：

(a) ヒトIL-12のp75ヘテロダイマーによって示されるエピトープと免疫学的に反応する；および

(b) (i) 該抗体の濃度が0.5 µg/mlであり該ヒトIL-12の濃度が0.25 ng/mlである、IL-12刺激PHA活性化ヒトリンパ芽球増殖を阻害すること、または

(ii) 該抗体の濃度が0.5 µg/mlであり該ヒトIL-12の濃度が0.25 ng/mlである、IL-12刺激IFN- 産生を阻害すること

によって計測される、ヒトIL-12生物活性の少なくとも90%を中和する。

【請求項2】

アカゲザルIL-12と交叉反応する、請求項1に記載の抗体。

【請求項3】

請求項1または2に記載の抗体のヒト化抗体。

【請求項4】

p40サブユニットのみによって示されるいかなるエピトープとも免疫学的に反応しない、請求項1～3のいずれか一項に記載の抗体。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項に記載の抗体を含む薬学的組成物。

【請求項6】

異常なTh1-型のヘルパー細胞活性を引き起こす増加したIL-12生物活性に関連する疾患を制御する薬剤の調製における、請求項1～4のいずれか一項に記載の抗体の使用。

【請求項7】

疾患が自己免疫疾患である、請求項6記載の使用。

【請求項8】

自己免疫疾患が、多発性硬化症、リウマチ性関節炎、自己免疫性真性糖尿病、および炎症性腸疾患からなる群から選択される、請求項7記載の使用。

【請求項9】

炎症性腸疾患がクローン病または潰瘍性大腸炎である、請求項8記載の使用。

【請求項10】

移植/移植対片宿主疾患を治療する薬剤の調製における、請求項1～4のいずれか一項に記載の抗体の使用。

【請求項11】

敗血症ショックを治療する薬剤の調製における、請求項1～4のいずれか一項に記載の抗体の使用。